



平成25年5月30日

NIIKOKU

本紙投げ込みを以て解禁

記者発表資料
新潟県政記者クラブ

PRESS RELEASE

こふなと 小船渡遺跡を見てみませんか？

～国道7号新発田拡幅で遺跡調査をしています～

新潟国道事務所では、国道7号新発田拡幅(新発田市奥山新保～同市三日市)の整備を進めています。工事実施に先立ち、新潟県教育委員会に埋蔵文化財の発掘調査を委託しています。

今回は、小船渡遺跡で発掘された出土遺物や遺構などについて、現地説明会を開催しますので、お知らせ致します。

◆説明会日時等

1. 日 時：平成25年 6月 1日(土)

1回目 10:00～

2回目 13:30～

※小雨の場合は発掘現場の公開および遺物・写真の展示解説を行います。

荒天候の場合は遺物・写真の展示 解説のみ行い、発掘現場の公開は中止します。

※また、各時間とも随時、受付いたします。

2. 場 所：「小船渡遺跡」(別紙「会場位置図」参照)

発掘調査事務所及び発掘調査現場(新発田市中曾根町)

3. 説明概要

- ・小船渡遺跡は、扇状地の末端部に立地しており、遺跡の時代は平安時代、鎌倉時代、室町時代です。
- ・平安時代には、畑地として利用されていることがわかりました。
- ・鎌倉～室町時代には、集落が築かれており、井戸や建物の柱の痕を検出しています。

お問い合わせ先

【新発田拡幅事業について】

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

調査課長 増田 純夫 (内線451)

電話 025-244-2159 (代表) FAX 025-246-7763

【小船渡遺跡および開催場所について】

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

調査担当 加藤

電話 090-4671-9514

※なお、携帯番号へは番号通知設定でおかけください。

新潟国道事務所

〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niihoku/index.html>



かわら版「にいこくひろば」はじめました！
ホームページトップのバナーから



国土交通省北陸地方整備局

埋蔵文化財調査の概要

(別紙)

1. 遺跡名：小船渡遺跡
2. 場所：新発田市中曾根町
3. 概要

立地場所：扇状地の末端(標高約4.5m)

発掘面積：約700m²

時期：古代(平安時代)・中世(鎌倉～室町時代)

発掘遺構：中世の遺跡より、井戸や建物の柱の痕を検出しました。

発掘遺物：中国産の青磁・白磁、国産の瀬戸焼・珠洲焼・笹神丘陵産の陶器や箸等の木製品や、室町時代の経石が出土しています。



室町時代の経石(お経が書かれた石)



古地震の噴砂
(庄内沖地震(1833(天保4)))

会場位置図



国道7号沿い、みよしの食堂様となりの緑色のプレハブ事務所が会場となります。

※駐車場に限りがありますので、自動車をご利用の方は、相乗りにてご来場くださいますようお願いいたします。

※近隣店舗のご迷惑となりますので、発掘調査事務所及び指定の駐車場以外への駐車はおやめください。

※周辺に設置してある案内看板及び誘導員にしたがって入場してください。

※説明会開始時刻の10:00及び13:30頃は混雑が予想されます。

受付を随時行っていますので、ご都合のよい時間帯にお越しください。

事業概要

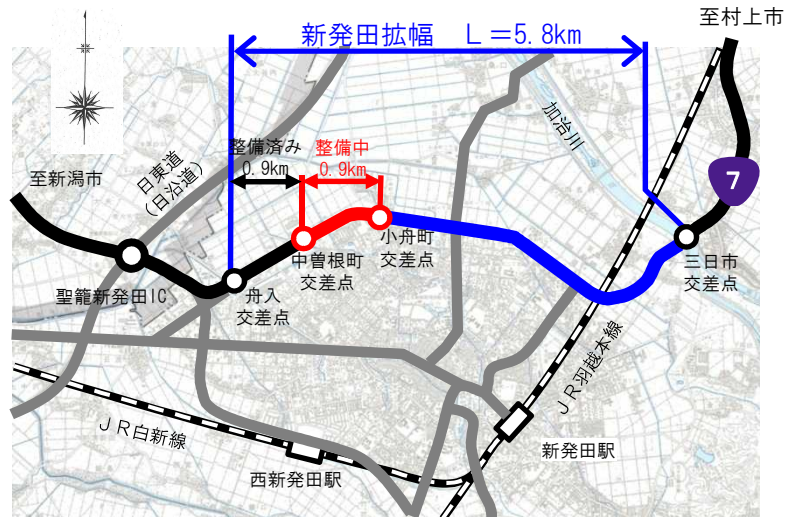
国道7号の新発田市市街地では沿道の開発により慢性的な交通渋滞が発生しています。

新発田拡幅は、慢性的な渋滞を緩和し、あわせて沿線地域の振興活性化を図ることを目的とした事業です。

現在、中曽根町交差点～小舟町交差点の約0.9kmの整備を行っています。



中曽根町付近の渋滞状況



事業による整備効果

- 慢性的な渋滞の緩和され、舟入3交差点～三日市交差点間の所要時間が14分から7分に短縮される効果が期待されます。
- 村上方面から日本海沿岸東北自動車道を利用し、救命救急センターを有する県立新発田病院へ週5回程度搬送されており、城北町交差点等の渋滞が緩和されることにより、村上方面からの三次医療施設へのアクセスの向上が期待されます。
- その他、事故の発生件数の削減等が期待されます。

